

食育事業取組報告書(東豊小学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	令和6年5月～12月
教科名	総合的な学習の時間	指導者	
単元名	作ろう！味わおう！新発田の食		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に米作りを体験したり、米に含まれる栄養について学んだりすることを通して、米を食べることの苦労やよさを知る。</li> <li>・日本の食料自給率が低下しているという問題や、その問題の解決に向けて取り組む地域の方々の存在や取組を知ることを通して、これからの地域や日本の未来について思いや願いをもち、自分たちで考えた活動を行ったリ、その活動を学校内外に向けて発信したりする。</li> </ul>		
	児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆田植えや稲刈り体験を通して、米作りに関心をもったり、その苦労を知ったりする。</li> <li>◆地域で米粉を使った商品開発を行っているパン屋の方をゲストティーチャーに招き、商品開発に向けた思いや願いに加え、その取組が日本の食料自給率向上にかかわっていることを知る。</li> <li>◆ゲストティーチャーの講話から、米粉を使った料理づくりに関心をもち、自分たちでメニューを考え、実際に調理実習をする。</li> <li>◆米粉のよさをより多くの人に知ってもらうための取組や活動を考え、実行する。</li> <li>◆これまでの活動をふり返り、作文や成果物にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活経験や社会科の学習を想起できるようにする。</li> <li>・米作りに携わっている地域の方々から話を聞き、米作りの方法や苦労が分かるようにする。</li> <li>・普段何気なく食べている米についての現実的な問題を知ることができるようにする。</li> <li>・現実的な問題の解決に向けて、力を尽くしている地域の方の存在に気付けるようにする。</li> <li>・調理実習で作った料理を味わい、米粉の魅力やよさを実感できるようにする。</li> <li>・これまでの体験(米作り体験・講話・調理実習)を踏まえ、米粉のよさをより多くの人に知ってもらうための取組や活動を話し合いから創出できるようにし、その成果を学校内外に発信できるようにする。</li> </ul>	  
成果と課題	<p>米作りの体験や栄養士・米粉を使った商品開発に取り組む方の講話、それを踏まえた米粉の調理実習といった体験活動を進めることによって、子どもは米のよさやおいしさ、魅力だけでなく、米作りの苦労や商品開発に向けた思いを実感することができた。それによって、米の魅力だけでなく、そこに携わる多くの方々への感謝や憧れをもつとともに、米という学習教材の奥にある「ひと」の思いや願いを実感できたといえる。</p> <p>一方で、学習内容について、さらに深く調べ、そのうえで情報発信につなげることで、地域や家庭といった学校外に幅広く働き掛けていく必要がある。</p>		
家庭・地域との連携	<p>子どもの学習活動(米作り体験・調理実習)を、学年・学級だより等で家庭に伝えた。また、体験活動の際、地域コーディネーターと連携して、地域の方々に子どもの学習活動を支援していただいた。</p>		